



(校門前の紅梅)

# 国府台女子学院 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Te l 047-322-5644

f a x 047-322-5655

2021年2月

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

## コロナ禍に学べること

～今こそ変わる～

緊急事態宣言が発令されて、3週間が過ぎましたが、未だに収束という段階には至っていないのが現状です。誰しもが不自由な生活を余儀なくされていますが、人々にとって不安を感じる時こそ学ぶことがあるとも言われています。

今回のコロナ禍に何を学んでいるかを考えてみました。一つは、命の大切さです。まだこれから活躍という著名な方も感染により他界されました。改めて命とは何かを考える機会をいただいています。二つ目は、危機管理ということです。コロナ以外でも、最悪のことを考えておきながら、毎日を見直していくということは、以前の私たちの意識の中では薄かったように思います。

他にも、正しい情報の入手、コミュニケーションの大切さ、医療関係者への改めてのレスpekt、学べる幸せ、自学の大切さ等々、たくさんのことを学んでいます。大変なときですが、「大変」は「大きく変わる」と書きますので、今こそよりよく変わるように自分自身を見直していきたいものです。



## 2月行事予定

1日 朝会(放送)	17日 学級懇談
～7日 授業動画配信	18日 学級懇談
5日 仏教朝礼(放送)	19日 仏教朝礼(放送)
11日 建国記念の日	20日 縦割り下校
11日～新中1ガイダンス (リモートによる)	23日 天皇誕生日
12日 涅槃会(放送)	26日 仏教朝礼(放送)
13日 休業日	27日 休業日
16日 職員会議	



## 書初め 入賞者

学院長賞 6年 鈴木茉耶		
特選 1年 工藤瑩采可	朴 端雅	
2年 鈴木結子	多田百合香	
3年 宮下陽真	鈴木桜子	
4年 泉 奏花	杉野愛梨	
5年 田嶋希子	伊藤早織	
6年 杉野遥香		
入選 1年 野々部杏夏	馬場 望	森脇莉心
小川美羽果	鹿倉ひり	高木優維
2年 竹山和瑚	廣岡凜音	包 雨琪
岩楠結音	小串莉子	長千紗都
3年 上芝あさひ	熊谷まり佳	中村璃子
青山凜香	齋藤結心	塙莉惟子
4年 武村陽葵	都丸美桜	松本美春
名倉彩夏	行木まり	包 雨晴
5年 川添陽莉	松波怜奈	三宅杏奈
池内綾奈	植木琴美	中村 紡
6年 眞水澄玲	塙眞惟子	宮下虹緒
杉山果蓮	鈴木彩夏	羽富優菜

## 授業参観にかえて

緊急事態宣言の中ですので、保護者の皆様にお集りいただくことができませんでした。子供たちの学習などの様子を動画配信いたしますが、詳細は、1月22日配信のメールをご確認ください。

## 今月の目標

「新型コロナウイルスに感染しないように、健康に気をつけましょう」

## 涅槃会

2月15日は、お釈迦さまがサーラの林のもとでお亡くなりになられた日です。そのお徳を偲んで「涅槃会」を行います。

今からおよそ2500年前の2月15日の夜、多くの人々に囲まれる中、お釈迦さまは、静かに思いにふけっておられました。そのお姿を見ていたアーナンダは、不安でたまらなくなり、「お釈迦さまが入滅されたら、私たちはどなたのみ教えを聞けばよいのですか。」と悲しそうに尋ねました。お釈迦さまは、「アーナンダよ、私は説くべき教えをすでに説いてきた。これから先は、一人一人が自らを灯とし、人々を導いていきなさい。」と、弟子たちに諭されました。そして、最後に「すべては変わりゆくものである。人々はただ真実の道を開き、精進せよ。」と言われ、多くの人が悲しむ中で、静かに亡くなりました。

「涅槃」とは、お釈迦さまの入滅のことだけをいうのですが、それは人間の死ではなく、仏さまとなられた方の尊いお姿をいうのです。私たちが「涅槃会」に臨んで、入滅のときにお釈迦さまが話された一言一言をしっかりと胸に抱いて、自らが灯となって、世の人々のために、精一杯に生活していくことを心掛けましょう。

本年度、小学部においては、2月12日(金)に放送により行います。



## ちよっとうれしい話

～寒さに負けず チューリップが芽を出しました～

立春をひかえ、1年で最も寒い時期になっています。しかし、この寒さに耐えて、1、2年生が秋に植えたチューリップが芽を出し始めました。これまで、定期的に水やりなどをやってお世話をしましたので、子供たちの喜びもひとしおです。

春には、赤や黄色など色とりどりの花が教室の前を飾ってくれるものと思います。辛いところを頑張るチューリップに学ぶところ多しでしょうか。